

総務常任委員会資料
2025年（令和7年）6月24日
政策局プロジェクト推進室

明石市立二見図書館(ふたみん)の運営状況について

令和7年4月1日に開館しました明石市立二見図書館（ふたみん）の運営状況等について報告します。

1 オープニングセレモニーについて

開催日時	2025年（令和7年）3月30日（日） 午前10時～午後3時
内容	<u>第1部(10:00～11:00)</u> 市長式辞、来賓祝辞、愛称採用者へのプレゼント贈呈、テープカット、情報発信明石タワー除幕式、など（145名＋立見） <u>第2部(11:20～15:00)</u> 市長の絵本タイム、チャレンジ！工作、おとも楽しむ絵本の世界、おはなしで知る二見、内覧会含む入館者総数（926名）

2 明石市立二見図書館(ふたみん)の運営状況について

(1)利用者の動向について

	入館者数	新規登録者数	貸出冊数
4月	25,837 人	1,295 人	17,556 冊
5月	18,494 人	369 人	15,464 冊
合計	44,331 人	1,664 人	33,020 冊

(参考)西部図書館の利用者動向

	入館者数	新規登録者数	貸出冊数
4月	18,869 人	185 人	46,387 冊
5月	18,570 人	192 人	47,561 冊
合計	37,439 人	377 人	93,948 冊

(2)二見図書館独自の主な取組等について

主な取組	利用者の反応等
「おしゃべりOK」案内を館内掲示	● 学生が喋りながらグループワーク ● 高校生が大型絵本を使って来館したこどもに読み聞かせ ● 買い物中の主婦がソファで歓談 ● 親子で会話しながら読書
椅子の位置を毎日ランダムに移動	● 大きな椅子にこどもが座ったり、こども用の椅子に高校生が座ったりするなど自由に活用
参考書寄贈コーナーを設置	● 学生が多く利用し、大人も含めて持ち帰りする事例も
交流伝言板の設置	● 利用者が自由にお題を提供し、他の利用者がその悩みなどに回答
イベントの実施	● 月 3 回の定例の読み聞かせイベントや小学生 1 日図書館長体験、高校生の図書館見学ツアーなどで多くの利用者が参加



交流伝言板



参考書寄贈コーナー



1 日図書館長

3 今後の取組について

蔵書数約 17,000 冊のうち約 7,000 冊が貸し出されている状況が続いていることから、早急に蔵書数の充実を図ってまいります。

また、イトーヨーカドー内店舗や近隣高等学校と連携したイベントの実施、交流伝言板の更なる充実など、本のまちビジョンに基づき、本を読むだけでなく、楽しみながら図書館で過ごしたり、来館者同士の交流が図れたりできるような取組を進めることで図書館利用の更なる活性化を図りたいと考えています。